

進め! 地域おこし協力隊

第1回

石黒協力隊員



みなさん、初めまして。昨年の8月から、音更町の地域おこし協力隊員として、十勝川温泉観光ガイドセンターで勤務している石黒大介です。神奈川県横浜市からやってきました。今月号から、少しずつ私の地域おこし協力隊員としての活動や、初めての北海道生活についてつづいていきます。

今回は簡単な自己紹介をしたいと思います。前職はスポーツ自転車の販売店で働いていました。連休になると自転車を持って北は北海道、南は鹿児島までツーリングに出かけ、公私ともに自転車漬けの日々を送っていました。

私は生まれも育ちも神奈川県ですが、母親の実家が厚岸町にあり、祖母が健在であった頃は、毎年のように北海道へ来ては道東を中心に自転車で走りまわり、納沙布岬、知床峠、美幌峠や襟裳岬などへ行きました。十勝では、帯広市から然別湖や糠平湖を見て帯広市へ帰ってくるルートを走ります。

走った後につかた温泉とインデアンカツ大盛中辛が本当にありがたかったです。もしかしたら移住のきっかけは、あの日の温泉とインデアンだったのかもしれないですね。こんな私ですが、音更町の魅力をたっぷり発信して、一人でも多くの人に観光に来てもらえるように頑張りますので、これからもよろしくお願いたします！



石黒協力隊員が勤務する観光ガイドセンター

防災豆知識



もし、外出先で大きな災害に遭遇したら、一体どこに避難すればよいのでしょうか。日頃から、「避難場所」や「避難所」などを示す標示板の記号の意味を知っておくことが必要です。海の近くでは、高波や津波の災害に対応した標示板が設置されています。以下に示す標示板の意味を理解し、避難場所などを把握しておきましょう。そして突如の災害に遭ったときには、安全を確保するために速やかな避難行動をとりましょう。



避難場所



避難所



津波避難場所



津波避難ビル

広報おとふけ 5月号 No.1000(平成30年4月25日発行)

- 発行／音更町 ●編集／広報広聴課
- 住所／〒080-0198 北海道河東郡音更町元町2番地
- TEL／0155-42-2111 FAX／0155-42-2117
- ホームページ／<http://www.town.otofuke.hokkaido.jp>
- Eメール／Mailbox@town.otofuke.hokkaido.jp

